

レポート作成シート

レポート課題 日吉 歯科・徳本 DH のセミナーを受講して	レポート作成日 2011 年 12 月 12 日
氏名 中村 朱里	部署／役職 歯科衛生士

レポート内容(以下の3つの項目についてまとめてレポートを作成してください。)

1. セミナー等に参加した目的
2. 学んだこと
3. 今後当院に学んだことをどう活かしていきたいか

1. セミナー等に参加した目的
自分の課題である SRP の技術を少しでも向上させ、今後の臨床に役立てていくため。また、日吉 歯科で診療を行っているDHの徳本さんの診療の仕方や患者さんとの接し方などを学ぶため。

2. 学んだこと
SRP・・・施術する部位によって、術者のポジションだけでなく、患者の頭のポジションも動かして、術者の体にできるだけ負担をかけないようにしていくことが大切。SRP を行っていて、やりにくかったり、無理な体勢になっているときは、自分のポジションや患者さんのヘッドレストの位置など、何か問題があるということなので、その都度見直ししながら SRP を行っていくことが必要。

プロービング、口腔内写真撮影・・・前回のセミナーでの課題。

プロービングの際に心がけること

- ・Walking 法を用いる
- ・レントゲンを診てからプロービングを行う
- ・プロービング圧を一定に保つ
- ・測定位置の一番深いところを記録し、30 秒以内に出血した場合 BOP(+)とする
- ・固定点は施術歯から離し、接触点を注意して測定する。

上記のことを意識し、正確なプロービング値を測定する。時間は、健康に近い患者であれば、10 分ほどで終わらせるようにすることで、メインテナンスの時間を大幅に短縮できる。

口腔内写真撮影
規格性のある写真を撮るということは基本であるが、撮影時間に関しても意識をしなければならない。患者の負担を減らすためにも、協力的な患者であれば撮影は 3 分以内で行う。

3. 今後当院に学んだことをどう活かしていきたいか
今回のセミナーでは SRP を基礎から学ぶことができ、今まで「これで良いのか?」と思いながらやっていたところを今までよりも自身を持って行えるようになりました。今はまだ知識をつけ、手の動かし方がわかった段階なので、これから実践していく中で、自分のものにしていきたいと思います。

レポート作成シート

徳本さんの言葉で一番心に残っていることは、『どんな患者さんでも、「苦手」「嫌い」と思う前に、まずは受け入れ、どうすればその人が動くだろうかということを考える』という言葉です。私はどうしても「この患者さんは苦手だな」と最初に思ってしまうがちでしたが、この言葉を聞いてからは、患者さんの見方を少し変えることができました。今後も患者さんとのコミュニケーションは歯科衛生士にとって不可欠なものなので、どんな患者さんでも受け入れられるように自分自身が成長する必要があると思いました。

徳本さんのセミナーを受け、メンテナンスや初期治療の考え方の基本をしっかりと押さえられたことで、私は歯科衛生士としての自分の課題が以前より明確にすることができたように思います。これからも基本を大切に、スキルアップを行っていきたいと思います。

担当者承認		院長承認	
-------	--	------	--

レポート作成シート

レポート課題 徳本DHセミナー	レポート作成日 23 年 12 月 16 日
氏名 竜口 優香	部署／役職 歯科衛生士
レポート内容(以下の3つの項目についてまとめてレポートを作成してください。) 1. セミナー等に参加した目的 2. 学んだこと 3. 今後当院に学んだことをどう活かしていきたいか 1. SRPの基本となるポジショニングと技術をみにつける 2. SRPの基本となる①ストローク方法②ポジション③使用キュレット④患者の頭の位置⑤床と咬合面の角度⑥圧排方法⑦視野⑧レストの方法⑨レストの位置⑩手のひらの向きを実際に相互実習をしながら学んだ。一本の歯牙に対してかなり細かくポジショニングやストローク方法があるが、今まではかなり無理をした姿勢でなおかつキュレットの刃が当たりにくい角度だったことが分かった。落とし込むまでに時間を要するし、確実にキュレットを縁下に入れていくにはトレーニングがかなり必要になるが、きちんと習得して再SRPを減らしていきたい。 実際のPtを診てもらうこともできた。今回、コミュニケーションが上手くとれにくく、初期治療を進めるにあたって不安な患者さんを診ていただいた。 歯周病について分かりやすくツールを用いての説明や、患者さんの声をしっかり聞いていただき、フロスを通すのも嫌がっていた患者さんが、『お願いします』と最後には笑顔になっていた。担当衛生士として、徳本さんに診ていただいた時間の何倍もその患者さんに接してきたが、理解しようとしてなかったのは私だったんだと反省し、まずは患者さんの声をしっかり聞き、その患者さんを受け入れることの大切さを学んだ。 3. 8月から6日間にわたり、徳本さんに当院に来ていただき、カリオロジーやペリオドントロジー、サリバテストの結果説明やSRP・口腔内写真・プロービングなどたくさんの知識や技術の習得をさせていただいた。衛生士のスキルアップを行い、医院全体のレベルをあげることを目標に、徳本さんをお願いしたセミナーだったが、即日臨床に活かせるような、臨床に沿った知識をたくさん教えていただくことが出来た。また、診療も一緒に診てもらい、今私たちに足りないもの、もっと伸ばしていくと良いところなどの的確な意見をもらうことが出来てとても良かった。	
担当者承認	院長承認

レポート作成シート

今回のセミナーを受け、私の中でとても学びになったことが、患者さんへのサリバテストの結果説明とSRPの実技だ。サリバテストを行っても、その結果が上手く患者さんに説明できているのか、患者さんの自分の口腔内を守ろうとする意識を上げることが出来ているのか、全て不安だらけだったが、徳本さんの結果説明を実際に見ることが出来て、私に足りないものがたくさん見えたと同時に、私自身もサリバテストに対するモチベーションが上がった。SRPではほぼ自己流になってしまっていたところを一から丁寧に指導していただき、無理のない姿勢で、なおかつ確実に歯面にキュレットが当たる技術を教えていただいた。自分のものにするためには、勉強とトレーニングがかなり必要になるが、今回学んだことは確実に自分に落とし込んでいきたい。

「患者さんを健康にし、幸せにする」この考えが徳本さんの発する言葉にはいつもこの気持ちが溢れていた。私も、患者さんが健康な口腔内で一生過ごしていただけるように、言葉だけでない、真のお手伝いがしたいとこのセミナーを受け気持ちを新たにすることが出来た。

このような素晴らしいセミナーを受けることが出来本当に感謝したい。

まずは、少しの時間を上手く使って、基本に忠実にトレーニングをつんでいこうと思う。

レポート作成シート

レポート課題 徳本セミナーレポート	レポート作成日 H23 年 12 月 9 日		
氏名 徳本 麻美	部署／役職 DH		
1. セミナー等に参加した目的 DHとして必要な口腔内写真・プロービング・SRPのスキルアップを図るため 2. 学んだこと 1日目は前回からの続きで残りの部位のSRPを行いました。 部位ごとに細かくポジション、レストの取り方、動かし方を確認しながら進めていき、その都度一人一人徳本さんに指導してもらいました。 2日目は前回実習した口腔内写真・歯周検査のテストを行いました。 口腔内写真は3分以内で企画性のある写真を撮影することを課題として撮影しました。 企画性については合格点を頂いたのですが時間が3分 10 秒程かかってしまいました。 歯周検査はプロービング、BOP、プラークチャートを正確に15分以内で行うことが目標でした。 プローベの操作はできているとのことでしたが時間が17分程かかってしまい、特にプラークチャートに時間を取っていることがわかりました。プラークチャートについては個々で取り方の基準もバラバラだったのでプロービング時にプローベにプラークが付いてきたらカウントし、染め出したらうっすら染まる程度のプラークはカウントしないことに統一しました。今までは、プロービングとプラークチャートは別々に検査して記入していましたが同時に検査、記入を行うことで時間の短縮ができるのではないかと指導されました。 3. 今後当院に学んだことをどう活かしていきたいか 口腔内写真はどんなPtに対しても企画性を持った写真が撮影できるようにすることと時間の短縮を今後の課題とし練習していきます。 歯周検査はまずはこれからも正確なポケット値を計測することを第一に意識し、その上でスピードアップを課題とします。 SRPは部位ごとのポジション、レストの取り方、ストロークをしっかり把握することが1番の課題ですが、SRPをしようと思った時にきちんと管理できたスケーラーが少なく器具を選ぶのに時間を取られてしまうので器具の管理方法を検討することも必要だと感じました。			
担当者承認		院長承認	

レポート作成シート

レポート課題 第3回徳本さん MTM セミナー	レポート作成日 23 年 12 月 13 日		
氏名 大杉 朱音	部署／役職 歯科衛生士		
レポート内容(以下の3つの項目についてまとめてレポートを作成してください。) 1. セミナー等に参加した目的 2. 学んだこと 3. 今後当院に学んだことをどう活かしていきたいか 1.SRP の基本技術の習得。 2. ・口腔内写真撮影のアドバイスを受けた。 短時間で規格性のある写真を撮影するため(特にミラーの淵が入ってしまった舌側面観)撮影前の歯牙が映る位置の指導を受けた。 ・プロービングのアドバイスを受けた。 目標15分で検査が行えるよう前回のセミナー以降挿入する角度を気をつけながら診療の際と相互の練習を行い、今回のチェックを受けた。検査は以前よりも正確なものを出せるようになってきたと思うがプラークチャートをとるのが、時間がかかっている。特に病因となるプラークを見逃さずチェックを入れることが大切である。 ・SRPを部位別にポジショニング、ヘッドの位置、固定の位置、手の動かし方を行った。 体全体が楽に行えるポジショニングと患者のヘッドの位置の確認を行った。 特に上顎左側臼歯部口蓋側を行う時のレストを口腔外に置き、左手で頬排除とレストを補強すること、下顎左側臼歯部をフロントポジションで行う際のレスト(二指固定)を行うと、今まで姿勢や手の向きが無理をしていたことが、とても楽に感じたが難しかった。 下顎前歯部は、ヘッドの位置を0度にして行わなければキュレットがポケットに正しく挿入されない。また、キュレットの刃の長さや太さも歯牙に合わせて選択できるようにそろえておくことが必要。 それぞれの部位を無理なく行うために、初めのうちは一つ一つ確認しながら、行っていく。 これからは、今回の方法で深いポケットがある場合でもできるように基本をしっかり診療と実習で身につけていく。 歯周治療を含め、初期治療を成功させるためには除石の技術を持つことと、患者のプラークコントロールを上げることが必須。			
担当者承認		院長承認	

レポート作成シート

TBI を行う際は、どこを磨かなければならないかをポイントを押さえて患者が把握できるように指導する。プラークコントロールの改善がなくては歯周治療は成功しない。

3、今まで3回(計6日間)のセミナーを受講させていただきましたが、カリオロジーとペリオドントロジーを基礎から学び、それを踏まえて診療に則したセミナーを受けたことは初めてでした。

今、この患者さんには特に何を伝えた方がいいのかのポイントを考えて接するようになりました。プロービングを含め、資料採りを正確に行い、比較出来ることの重要性を意識するようになりました。また、これからは採った資料を自分なりに診断し、資料を診る目、歯肉を診る目をつけていくことが課題だと思います。SRP の際も、自分自身の体にも、力を入れてとっていたので取られる患者負担が大きくかかっていたんだと実感しました。初めのうちは一つ一つ確認しながら身につけていきたいです。

レポート作成シート

レポート課題 『徳本さんMTM導入・構築セミナー』に参加して	レポート作成日 23年 12月 11日
氏名 出口 裕美	部署／役職 DH

レポート内容(以下の3つの項目についてまとめてレポートを作成してください。)

1. セミナー等に参加した目的
2. 学んだこと
3. 今後当院に学んだことをどう活かしていきたいか

1. 前回に引き続きSRPの基礎を学び、手の動かし方やポジションを習得するため。また課題となっていた口腔内写真、プロービングのチェックを受け、改善できたところや不十分なところを確認するため。

2. 口腔内写真に関しては、苦手としていた頬側面観を以前に比べ撮影できるようになったがまだミラーの角度足りないこともある。またミラーの端が写真に入ったり、ピントが甘いこともあるので顔の向きやミラーの挿入の仕方をひとつずつ確実に行う。実際に患者さんの口腔内を撮影するときは口唇鉤の持ち方や顔の角度などを誘導しながらになるので分かりやすい声かけも必要。

プロービングは歯肉溝にしっかり挿入することを心掛けて行くとかなり時間がかかってしまう。しかし、意識をして実際にしてみると今までのプロービングやブラークチャートのチェックが甘かったかを痛感した。時間短縮をしながら確実にプロービングできるようにする。

SRPは基礎を教わり、今までしてきたSRPがいかに効率が悪く、負担になっていたのかが分かった。少しのポジションや顔の角度の違いで施術が楽に行えるかを身をもって体験した。実際に患者さんに教わったようにSRPを行ってみると疲労も少なく、除石しやすくなったように思う。まだ基礎を学んだだけなので、歯肉を確実に改善させるSRPには程遠いが自分なりのマニュアルを作り、ひとつずつ身につけていく。

3. 今回のセミナーを通して、DHとして必要なものをととても多く学んだ。それは手技だけではなく、DHとしての心構えや医療人としてのあり方、また患者さんとの向き合い方。。。等実りのあるものばかり。DHとして8年間臨床に携わってきたが、今まで患者さんに対して行ってきたことが本当に患者さんの口腔内を良くし、患者さんの健康観を高めることになっていたか？ちゃんと患者さんに向き合ってきたか？リスクコントロールを確実にできていたか？そんなことを深く考えさせられる良い機会になった。今回学んだことをすぐに形にすることは難しいかもしれないが、日々の診療でDHとしての役割を果たし、患者さんにひとつずつ確実に施術をしていくことが結果を出せる診療につながり患者さんだけでなく医院に還元することになるのではないかなと思う。

第5回 徳本さんのセミナーを受講して・・・(SRP実習篇)

DH 河村 美保子

■ 口腔内写真のチェック

〈テクニカルエラー〉

- ・ 右上口蓋側面観・右下舌側面観のミラーの縁が写り込み
- ・ 上顎全体のバランス（やや上の方に行き過ぎ前歯部が写っていなかった）

他はまずまず撮影できているとのことで、一応 合格は頂いた。しかし、日頃からやはり苦手としている所だったので、練習をして克服しなければと思った。

■ プロービングのチェック

目標10分はいかなかったけど、プロービングもとりあえず合格を頂いた。

前回と同じく、患者役になってくれた大杉さんから「痛くないしポケット底にも触られている感覚あり」とのことで、よくなったとOKがでた。しかし今回は皆、健康な歯肉の人ばかりだったので、ポケットの深い患者さんでは、見落としがないよう細心の注意を払うと同時に速さ・見る目を養わないといけないと強く思いました。

□ 全コースを終えて・・・

徳本さんセミナー全コースを受けて、本当に学びというか得るものが、多かったセミナーでした。MTMの捉え方、実践の仕方、患者さんとのコミュニケーションのとり方、全てにおいて

「なるほど・・・」「そうゆうことだったのか・・・」と私が、私達スタッフが漠然としていた所や、わからなかった事がどんどん解決していくような感覚があり、楽しく勉強することができました。MTMをやっていく上で大切なこと、大変なこと・・・これまでも何度となく医院内で勉強してきたつもりでしたが、MTMとは・・・がきちんと理解・落としこめてる(!?) 徳本さんは、説明にとっても説得力があるなと感動しました。また、2日間は診療にも入って頂き、私の担当患者と一緒に診てもらい、残石のチェック、レントゲンでのカンファ、プロービング・・・本当にたくさんのことを学べたと思います。SRPに関しては、やっぱり頭で思い出そうと考えると、手が上手く動かないので、ツールのようなものを作って何度もそれを見ながら練習したいと思います。徳本さんのようなスーパー衛生士にはとてもなれないと、思いますが一歩でも近づけるようにがんばりたいと思います。